

令和3年度事業報告

令和3年度は、測量計画機関が保有する地図・空中写真等のワンストップ提供体制の整備、学校教育における地図・地理学習の充実に資する教員免許状更新講習等の諸施策の拡充、並びに事業運営の効率化、収益力の向上を図ることで経営の安定化を目指すこととしている。

年度中、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が繰り返される状況下において、職員の時差通勤やテレワークの実施、リモートによる諸会議の実施、集合形式によるイベント等のやむを得ない中止により、計画した事業が円滑に執行できない部分があったが、このような状況下で令和3年度においては、事業計画に基づき目標達成のため、以下の事業を実施した。

1. 実施事業（地図に関する調査研究・普及啓発・研究活動等支援等）

(1) 国内外の地図の収集、解析及び提供

- ・「関西時層地図」のリリースに向けて、京都、奈良、大阪、神戸の旧版地図、年代ごとの空中写真について資料収集、解析及びデジタル化を進めた。

(2) 地図の作成及び利用に関する調査研究

- ① 第54回地図展に向け、「水路測量150年記念 神戸から見る日本の国土と海」に係る各種地図等関係資料の収集・整理を実施した。

(3) 地図の作成・利用に関する普及啓発

- ① 「測量の日」関連行事として新宿駅西口広場で開催が予定されていた第29回「くらしと測量・地図展」(6/2～6/4)が、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により4月19日「測量の日」東京地区実行委員会により中止が決定された。
- ② (一社)全国地域活性化支援機構が主催する技術セミナーの中で、空中写真に関する「出前講座」(5/27)を(株)日本インシークセミナールームにおいてオンライン方式で行った。また、埼玉土地家屋調査士会主催の第2回会員業務研修会の中で、空中写真に関する「出前講座」YouTube配信用の録画撮り(2/14)をさいたま共済会館会議室において行った。
- ③ 小学校高学年と保護者を対象とした「夏休み地図教室」(7/30・7/31)を、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数、参加人数を制限し開催したため、参加を希望しても参加ができなかった方のために教材(追加50セット)を販売し、「You Tube」による教材(地図)の作り方を動画配信した。
- ④ 教員を対象とする「教員免許状更新講習」(8/20、8/21)について、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施した。
- ⑤ 教員免許状更新講習「地図探究」(8/21)と同時にマップリーダー研修を実施した
- ⑥ 第54回地図展「水路測量150年記念 神戸から見る日本の国土と海」で床展示した神戸市を中心とした空中写真(国土地理院撮影)1/3,000(縦5.4m横8.7m)等について、関西地区の防災・減災に資する目的で、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターに寄贈した。併せて、地図展で展示した米軍撮影の空中写真、阪神淡路大震災当日の空中写真(国土地理院撮影)等を提供し有効活用を図った。
- ⑦ GIGAスクール授業に活用できるか実証授業を実施し、今後のGIGAスクール授業での活用するための助言を行うことを目的としたiPad教育向けアプリ「岸和田市GIGAスクール時層地図(仮称)」の使用について同市教育委員会と協定書を締結した。

- ⑧ 学校教育における地形図の利活用の推進のため、小中学生に地図に慣れ親しんでもらうとの趣旨で、日本地図、世界地図を背景としたカレンダーを作成し、全国約 1,500 校に配布した。
(つくば市教育長(12/15)、つくばみらい市長 (1/14) に対する贈呈式に理事長が出席)
- ⑨ 地形図等の普及啓発を目的とした「マップインデックス」を作成し、地図販売店及び関係機関等へ配布した。
- ⑩ 来訪、電話、電子メール等による地図・空中写真に関する問い合わせ・相談に対応した。

(4) 地図地理検定の実施

- ① (公財)国土地理協会との共催で、新型コロナウイルスによる感染症防止対策を十分行った上で、6月13日第35回地図地理検定、11月14日第36回地図地理検定を実施した。
- ② 本行事遂行協議のための地図地理検定委員会を2回(10/17、12/13)開催した。

(5) 研究活動等の支援

令和3年4月14日書面開催の研究活動等支援委員会における令和3年度方針に基づき、地図及び地図学ならびにこれらに関連する科学技術の研究、教育、普及等に関する活動の支援を行うことにした。

- ・支援希望研究活動の募集 4月27日～ 6月1日
- ・研究活動等支援委員会の書面審議開催(研究活動支援の採択審議) 6月25日
- ・令和3年度の採択件数 31件

なお、地形図の提供については、公募後も期限を延期して支援を継続することとした。これに対して2件の応募があり提供した。

2 その他事業(地図刊行・提供等事業)

(1) 国土地理院刊行地図等の複製頒布

- ・地形図等の販売
- ・空中写真の販売
- ・国土基本図・湖沼図等の販売
- ・数値地図(CD-ROM、DVD)の販売
- ・数値地図(オンライン提供)の販売

(2) 地方公共団体、民間事業者の地図・空中写真の販売

- ・東京都全域の1/2500都市計画図、空中写真の販売
- ・札幌市全域の写真・地図の販売
- ・埼玉県全域の空中写真の販売
- ・三重県全域の写真・地図の販売
- ・沖縄県全域の空中写真の販売
- ・栃木県全域の空中写真の販売を4月から開始した。
- ・林野庁(都道府県を含む)撮影の空中写真の販売を5月から開始した。
- ・その他民間事業者作成の空中写真、衛星データ地図の販売

(3) 図書の刊行

- ・月刊 地図中心の出版
 - 4月号 特集 市原市 アートからチバニアンまで
 - 5月号 総特集 東洋文庫「江戸から東京へ」-地図にみる都市の歴史」読本

- 6月号 特集 地名論壇
- 7月号 総特集 地質標本館・地球からの知恵
- 8月号 特集 高尾山 ★★★
- 9月号 特集 全国都道府県市区町村別面積調図解
- 10月号 総特集 水路測量 150年・時層海図
- 11月号 特集 地理総合へ【紙地図編】
- 12月号 特集 「国道をゆく」
- 1月号 総特集 総特集 日本路面電車地図帳
- 2月号 総特集 地図と50年・地図で50年日本地図センター50周年感謝号
- 3月号 特集 地理総合へ【地理院地図編】

- ・「地図地理検定（一般）過去問集新選100」を4月に発売
- ・『鉄道と地図 時刻表と地形図が描いた鉄道の歩み』（交通新聞社） 地図作成協力
- ・「地図記号500」の内容を見直し12月に再発売（増補版）

(4) 測量成果の検定

①令和3年度測量成果の検定受注件数

- ・基本測量成果の検定受託件数 6件
- ・公共測量成果の検定受託件数 257件

②優良地理空間情報成果の認定及び優秀地理空間情報事業所の表彰

（6月2日開催の審査委員会選定による）

- ・令和2年度優良成果の認定 42件
- ・令和2年度優秀事業所表彰 1事業所

(5) 受託業務（別掲）

(6) 地図倶楽部の運営

- ・会員数 720名
- ・6月 故田代 博 氏著書プレゼント
『地図がわかれば社会がわかる』（新日本出版社・2016年発行）抽選で13名に発送
- ・7月 地図と測量の科学館 企画展「一等三角点物語」（2021.3.23～6.27）紹介動画公開
- ・9月 デジタルライブラリ 故田代 博 氏連載記事
「田代博の地図と富士山の教室」「展望図採点紀行」のまとめ読み
（展望図は地理院地図と連動）コーナー開設
- ・10月 デジタルライブラリ 新連載開始（月1回）
- ・11月 デジタルライブラリ 「地図の散歩道」連載開始（以前のブログ記事を編集・掲載）
（月1回）
- ・12月 国土地理協会のカレンダーを全員プレゼント（「地図中心」12月号に同封）
2022年カレンダー無料配布
- ・1月 デジタルライブラリ 新年企画（寅のつく地名についての記事）公開（1月中）
- ・2月 センターHP リニューアルに伴い、地図倶楽部案内ページの内容を修正・公開
- ・3月 「地図地理検定過去問集 新選100」を10名にプレゼント
- ・3月 設立50周年記念基調講演「利根川の近代治水と東日本台風」（講師：国土交通省水管理・国土保全局水資源部長三橋さゆり氏）を会員限定で動画配信した。

(7) 「地図扇子」の販売

- ・2021年新作シリーズ 7/7

室蘭東北部・夕張・刈谷・浜田・武留路山(長崎空港)・川平(石垣島)・三条・成田・佐倉・東京西部(新宿)・東京西部(池袋)・東京南部(令和元年版)・伏木・犬山・米子・平戸・佐世保南部

(8) 「地図中心」の販路拡大

- ・「4月号特集 市原市 アートからチバニアンまで」を道の駅「あずの里いちほら」で販売
- ・「5月号総特集 東洋文庫「江戸から東京へ—地図にみる都市の歴史」読本」及びバックナンバーを東洋文庫で販売
- ・「7月号総特集 地質標本館・地球からの知恵」を産業総合研究所内コンビニで販売
- ・「8月号特集 高尾山 ★★★」を京王線沿線の書店約100店舗で販売

(9) 時層地図普及啓発

- ・目黒区主催「将軍お鷹狩りウォーク」において、「東京時層地図 for 目黒区お鷹狩りウォーク(当日限定)」を提供した。利用者アンケートでは、おおむね好評であった。
- ・第54回地図展でタッチパネル式の神戸地区時層地図を展示した。
- ・令和4年2月1日、関西時層地図(iPhone版)をサブスクリプション配信によりリリースした。
- ・65インチモニターで構成したタッチパネル式「東京時層地図」を1台販売した。

(10) 国土地理院「地図と測量の科学館ミュージアムショップ」を4月から運営開始した。

3. 理事会及び評議員会の開催

- (1) 第33回理事会 令和3年 6月11日(金) センター本所にて(常勤役員以外リモート出席)
- (2) 第34回理事会 令和3年 6月29日(火) センター本所にて(常勤役員以外リモート出席)
- (3) 第20回評議員会 令和3年 6月24日(木) 書面評決
- (4) 第35回理事会 令和3年 11月29日(火) センター本所にて
- (5) 第36回理事会 令和4年 3月22日(火) センター本所にて(常勤役員以外リモート出席)
- (6) 第21回評議員会 令和4年 3月29日(火) 書面表決

4. その他

- (1) 広報活動等の一環として国土地理院刊行の地図等について「MAP GUIDE」パンフレットを作成した。

- (2) 令和4年2月でセンター設立50周年を迎えることから、記念事業として次の事項を実施した。

①設立50周年を内外にアピールするためのロゴマークを作成した。

②設立50周年記念「50年のあゆみ」の編纂を行うための編集委員会を設置し、編纂を開始し、令和4年3月発行した。

③ ②の編纂にあたって、記念の座談会を9月29日(水)にアルカディア市ヶ谷で実施した。

パネラー	法政大学名誉教授	森田 喬氏
	国土地理院企画部長	大木 章一氏
	文部科学省初等・中等教育局教科書審査官	三橋 浩志氏
	前橋市教育長	吉川 真由美氏

(株)ゼンリン事業統括本部長

藤沢 秀幸氏

- ③令和4年2月4日に開催予定していた設立50周年記念式典について、新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、やむを得ず中止した。
 - ④初代「地図大使」を俳優で気象予報士の石原良純氏に委嘱し、設立記念日の令和4年2月23日に就任した。(令和4年2月21日プレスリリース)
 - ⑤設立50周年を記念した基調講演として、国土交通省水管理・国土保全局水資源部長 三橋さゆり氏にビデオ撮影による講演を依頼し、DVDに収録し、設立50周年記念品とともに関係者に配布した。
- (3) 地形図等の複製頒布事業について、地図生産から販売までの一元管理等を図り、サービス部門の強化のために、次の組織を7月に改編した。
- 生産事業部⇒地図刊行部、刊行調整課(新設)
 - 朝霞事業所⇒朝霞流通センター
 - 流通事業部⇒情報サービス部
 - 販売営業課⇒情報サービス課
 - ネット販売課⇒ネットサービス課
- (4) 12月15日(水)、国土地理院幹部との意見交換会を実施した。
- (5) 日本地図センターのホームページのリニューアルを2月に実施し、スマートフォン、タブレットでの閲覧に対応するようレスポンスなデザインとした。
- (6) 「地図中心」、「時層地図」、「地図地理検定」((公財)国土地理協会と共同提出)の商標登録を行った。(「地図倶楽部」については、H28年登録済み)